ハ ラ ス メ ン ト の な い

みんなの快適な

学習

教 育

研究

環境のために

 $Vol.\ 2\mid$ シリーズ 1 . 気 づ こ う、ハ ラ ス メ ン ト シリーズ 2 . ハ ラ ス メント に 気 づ い た ら



特 定 非 営 利 法 人 アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク Network for the Action against Academic Harassment N A A H は

じ

め

に

"昭和"の時代は、教育としての体罰は容認されていました。 その時代にも、叱責や人格否定の言葉による暴力もあったと思います。

それが、"平成"に入り叱責や能力の否定が 学生の未来を潰しかねないと少しずつ声があげられるようになりました。 そして、21世紀になってようやく、教育指導の中での叱責は言葉による暴力である、 つまりハラスメントである、という認識が広まりました。

"令和"は一見当たり前に思えることかも知れませんが、教育指導においても
「相手を傷つける行為をしない。今までの指導の中にある問題を改めていく時代」に
しなくてはなりません。

さあ、まずは私達からハラスメントのない快適な教育環境をつくっていきましょう!

本冊子は"令和時代の教員育成プロジェクト"から生まれました。 是非、YouTube動画と一緒に本冊子をご活用下さい。 教職に就きたいと思っている学生は、特に読んで頂けたらと思います。 動画はコチラ



目 次

シリーズ1. 気づこう、ハラスメント・・・p.1

シリーズ2. ハラスメントに気づいたら・・・p.11

ハラスメントについて知りたい方へ ・・・p.18

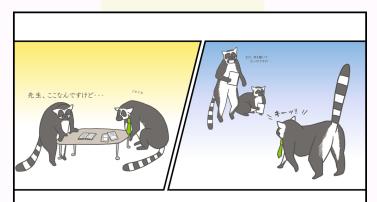




さて、「ハラスメントって、どういうこと?」
「知らないなぁ」という人も多いのではないでしょうか。
ハラスメントがどういうものかを知らずに大学を卒業し、
学校の先生になった場合、あるいは社会人になった場合、
ハラスメントを指導の一貫だと認識して問題とは思わずに見過ごしてしまったり、加害者になってしまう恐れがあるのです。

そこで今回は"<u>ハラスメントに気がつけるよう"まずは大学での事例から</u> 見ていきましょう!

大学でかりラスメント事例

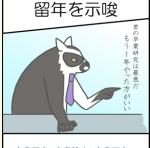


不平等な扱い

#個人指導#お気に入り #生徒によって態度が違う



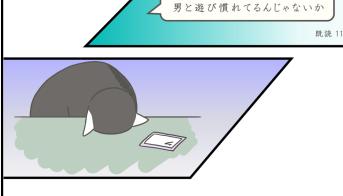
大学院への進学を 妨げる #ヰゕ゚ゎゕゟない



#卒業研究 #卒業論文 #卒業不安 #具体的な指導がない #理不尽



お気に入りの学生を #アカハラ #セクハラ "ちゃん"付けで呼ぶ #聞いているのも不快



都会出身だから、

#アカハラ#セクハラ 性的冗談 #LINE #Mail #メーリングリスト #一斉送信 #グループLINE







全員が見ているところで恥をかかせる



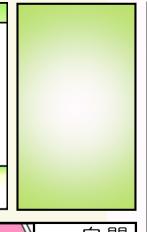


#LINE #グループLINE #Slack #Mail #メーリングリスト #アカハラ #セクハラ #性的役割分担 #ジェンダー ハラスメント #LINEひらくの怖い #ショック #LINE運用の ルールを決めて ほしい

性に関する偏見を当然とした文章が送られてきた





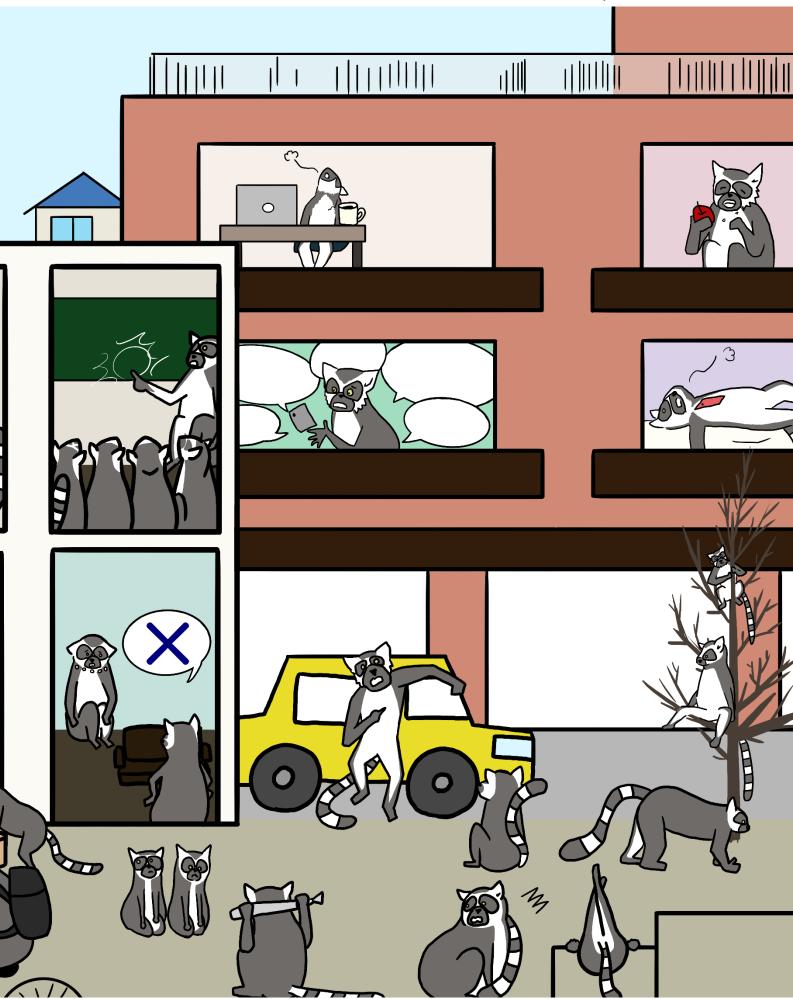


自宅私室で指導 閉め切った研究 に研究 研究室 ※自宅はイメ #アカハラ #セクハラ #気持ち悪い #恐怖 #ありえなし



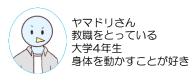
なにか変だね。なにが起こっているんだろう・・・





振り返ってみよう!

皆さんも一緒に、生活の中でハラスメントかな?と思う言動について振り返ってみましょう。前のページのイラストをヒントにしてみて下さい。



タニガワさん 教職をとっている 大学3年生 ヤマドリさんと同じ年



ヤマドリ:僕は高校の授業で、 質問に答えられなかった生徒に 「バカ」「そんなことでは偏差 値の低い大学にも行けないぞ」 と口癖のように言っていた先生 がいました。しばらくしたら、 その子は学校に来なくなっ て・・・『今、どうしてるんだ ろう?』

タニガワ:私は高校の時、皆の 前でさされて問題を解いたら、

「君にはこの構文テクニックは まだ早いよ」って言われたこと を思い出しました。確かに英語 は苦手だったんだけど、**そんな 風に言わなくてもいいのに**と思 いました。

ヤマドリ: わざわざ言わなくて もいいのにね。皆の前だと恥ず かしいし、今すぐここからいな くなりたいって思う人もいると 思う。

タニガワ:たった一言なんだけ どね・・・。あとは、私は先生 にノートを提出したら、その場 でパラパラパラ~ってノートを 捲って「フフッ」って笑って返 却されたことがありました。

講師:<u>証明しにくい目つき、言い方、雰囲気、仕草などもハラスメントの特徴ですね</u>

ヤマドリ:僕は塾でバイトをしているのですが、「こんな時期に有給をとるなんておかしい!生徒を一番に思っていない証拠だ!」とベテランの講師の方に怒鳴られてしまいました。

タニガワ: ええ!?

ヤマドリ:あまりにも大きな声だったから、廊下を歩いていた人たちもこちらの様子を見ていて、もうとにかく「すみませんでした」って謝ったんだけど許してもらえなくて。結局他の講師の方が間に入ってくれたんだけど。

タニガワ: そんなに休む予定 だったの?

ヤマドリ:いや1日だけ

タニガワ: それは困っちゃうね。 私達は学生で学業もあるし、プライベートもあるし、生活状況 も人それぞれ違うから、私は休 んでもいいと思うんだけどなぁ。 でも、社会人から見たらどうな んでしょうか。

講師:もちろん、<u>休むときは職場・上司と相談をする必要がある</u>と思います。しかし、<u>「先生とはこうあるべき」や「自分の仕事のやり方だけが正しい」、それ以外は認めない、許さないという風に合わない人を責める・排除するような言動はハラスメント――パワー・ハラスメントやモラル・ハラスメントにつながっていきます。</u>











タニガワ:あの質問してもいいですか?

講師:いいですよ

タニガワ:教育熱心な先生がある生徒に「君は将来何になりたいの?」と毎回の授業で聞いていたんです。それは、勉強のモチベーションを上げるために聞いていたみたいなんです。でも、あまりにも何度も聞くからその子が遂に泣き出してしまって・・・。

ヤマドリ:かわいそう・・・。 やりたいこととか、将来の夢っ てそんなにすぐに決まるような ことじゃないのに。 **タニガワ**:私も当時はその子の 気持ちがわからなかったんだけ ど、きっと責められてるように 感じただろうなって今は思いま す。

講師:先生は生徒のことを思って言った言葉が、生徒を追いつめてしまうこともありますね。 先生は「この子はもっと上等する」と思って熱心に指導これが、生徒は「どれどいけれど、生徒はいんだろう。もう頑張れない」ともあります。生徒の気持ちに寄ります。生徒の気持ちに寄ります。生徒が大切ですし、生徒が相談できるようにしておくことが大事ですね。

ヤマドリ:話が変わるのですが、 部活で寮に入っている友達が 「朝は先輩より早く起きて、夜 は先輩より遅く寝ないといけな いんだ」と言っていました。こ れって変じゃない? タニガワ:変だけど、先輩には 逆らえないかな。私が入ってい た部活も下級生の意見は聞いて もらえなかったです。

ヤマドリ:よくあることだけど、 発言権がないっていうのは傷つ くよね。

タニガワ: 社会に出てもそういうことってあるのかな?でも、 先輩の言葉は後輩により重く受け止められていると思うから、 私たちも気をつけないといけないね。

ヤマドリ:そうだね。でも先輩 以上に先生の言葉はもっと絶対 的なものでした。先生の指示で 大雨でも外で部活の練習をして いました。

タニガワ:授業中に「質問に答 えられるまで座ってはいけませ ん」というのもそうですよね。

講師:その通りで、生徒は先生 が言ったことが「正しい」 「ルールだ」と思ってしまいま す。しかし、こうした指導は指 導ではありません。



ハラスメン

タニガワ:会社に就職した先輩が「女のくせに」と**女性の活躍を良く思わない**人がまだまだいると言っていました。

ヤマドリ:僕も就職した先輩たちが「男性が育休をとるなんはまたない。実際取している人はほとんどいないし、口に出せる空気じゃないよ」「え、そんなに難しいの?俺の会社は相談しやすいよ」と言っていて、会社によって全然違うのかと思いました。

タニガワ:働きたい人もいるし、家庭をもちたい人もいるし、家事や育児を分担したい人もいるし、 色々な価値観の人がいるので、これからは多様な価値観を理解していくことが大切ですね。

講師:会社でも、学校でも、ジェンダー平等についてとか、こういったことを話し合う場に、あまり若い人は居ません。しかし、嫌な思いをしている、困っている当事者の意見を聞かないと、ハラスメントは常態化してしまいます。

タニガワ:ヤマドリさん! このあいだ「帰国子女は気が強くて、ハッキリ意見を言うからグループワークが進めにくい」っていう先輩の投稿に"いいね"と"リツイート拡散"としてたでしょ。

ヤマドリ: あ、そういえばそう だったかも・・・・

講師:それはいけませんね。<u>差別的な、また誹謗中傷する投稿に、同調することはやめましょう。</u>軽い気持ちでしたことでも、加害者に同調することになるとの認識を持ってください。

ヤマドリ: そんなに深く考えて ませんでした・・・ごめんなさ い。**僕、気づかないうちに加害** 者になっていました。

タニガワ:いや、実は**私もハラ** スメントしてたなって思い当た る節があります。



つい言った一言が、 ハラスメントだった という経験が皆さんも あるのではないでしょうか?



講師: <u>つい言った一言が、ハラ</u> スメントだったという経験は皆 さんもあるのではないでしょう か?

ヤマドリ:自分が被害者の事例 は沢山思いつくのですが、加害 者の方は全然思いつかなかった です。

講師:ハラスメントとは気づい ていないことを、無自覚に、 言ったりしてしまうので<mark>す。で</mark> も、<u>無自覚だからと言って、ハ</u> ラスメントをしていい<mark>わけでは</mark> <u>ありません。</u>

ヤマドリ:ボクちょっと生活す るのが怖くなりました・・・。

講師:大丈夫です。ハラスメン トに気付くようになれば、言動 <u>も気をつけることができま<mark>す。</mark></u> それに完璧な人はいません。誰 もが自分では気づけない癖や<mark>言</mark> 動があるものです。そのため、 もしそうした言動を他者から注 意された時は、素直に自分の言 動を振りかえり、謝り、今後は しないようすることが大切です。 お互い気をつけていきましょう。

無自覚だからと言って、 ハラスメントをしていいわけではありません。

> <u>ハラスメントに気付くように</u>なれば、 言動も気をつけることができます。

もしそうした言動を 他者から注意された時は、 素直に自分の言動を 振りかえり、謝り、 今後はしないようすることが 大切です。

ヤマドリ・タニガワ:はい!

教員を目指すキッカケは?

タニガワ:ヤマドリさんはどうして教員になろうと思ったの? ヤマドリ:僕は子どもが好きだからかな。素直で、今も塾講師のバ

イトをしてるんだけど、僕の方が元気をもらってるんだよね。

タニガワ:素敵な理由だね! ヤマドリ:タニガワさんは?

タニガワ: 私はね・・・小学校の時、人前で話すのが苦手で。

ヤマドリ:え!今からは想像できないね。

タニガワ:そうでしょう(笑い)その時にね、担任の先生に「この ままだと、社会に出れないわよ」「できるまで練習しなさい」「な

んでできないの」って言われてたの。

ヤマドリ: 先生、怖いなあ。

タニガワ: だから、私はそういう生徒さんに寄り添える先生になり

たいなあって思ってる。



お便りる一大





そんなことはありません。

○成績は課題・ 試験等で決まります。

<u>もし単位を落とした場合は、</u> <u>追加課題、追試や再評価で基準をクリア</u>しない と単位はとれません。

もちろんハラスメントはいけないことですが、 ハラスメントの認定と成績評価は、分けて考え なくてはいけません。



部活の練習を廊下でしていたら 「ここは人の通り道だから、使わ ないで下さい」と何回か職員に注 注意をされました。でも、



> ◇ 僕はこの春大学生になりました。

ハラスメント窓口と調べると、悪い評判ばかりで、 相談するのが怖いです。

大学1年生



ハラスメント窓口は大学によって相 ○ 談員やその対応が異なるのが現状で す。酷いところもありますが、一方

で適切な対応で解決しているところもあります。 ネットの書き込みのほとんどは断片的なので、 対応が適切だったか判断できません。

このシリーズの第1巻が相談の必要性について説明しています。

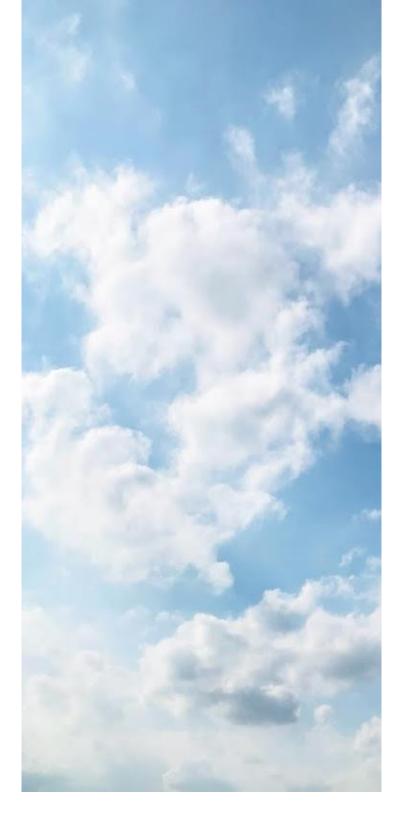
「相談は助けを求める第一歩」、また「相談を受ける際の注意点」についても、もう一度 YouTube動画を見て下さい。

心配なら相談窓口で相談員の方と一緒に視聴して ください。そうすれば、相談が円滑に進み、納得 のいく解決につながると思います。



「人の通り道だから、練習をしないでほしい」というのは理不尽な要求ではありません。

○このように正当な理由があって指導、 注意される場合はハラスメントではありません。



メントに気づいた。

さて、ハラスメントをしないためには、ハラスメントに気づくことが大事だということがわかりました。次に、ハラスメントに気づいたら、どうしたらいいのかについて一緒に考えていきましょう。

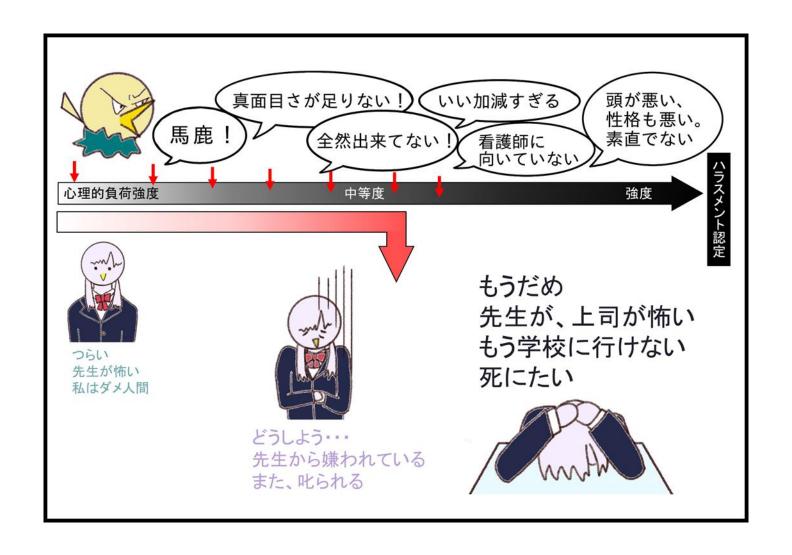
まず、ハラスメントを理解する上で、被害を受けている人の心情について、 知っておいて下さい。

被害を受けている人の心情について



『バカ』といったハラスメントにあたる言動を先生から最初に受けたとき、学生はつらいと感じます。そして、次から授業を受けるのは怖いし、また、叱られたらどうしようと思ってしまいます。

こういった衝撃的な言葉を初めて受けたとき、その時に、 先生の方が学生を傷つけた言動があったことを認識し、改め るならば、以降は、ハラスメントになるようなことはなくな るので、学生は先生への怖さもなくなり、学生生活をまっと うできます。



しかし、図の上段のような『真面目さが足りない』『全然できてない』などの否定的発言が続くと、学生は睡眠障害やうつの状態に陥り、学校に出ていこうとすると吐き気がしたり、腹痛に襲われたり、酷い頭痛に襲われたりして学校にいけなくなってしまいます。こういった心身の不調は、ハラスメントの状況としてはグレーゾーンで、起こってきます。

<u>ハラスメントの申立をした場合に、ハラスメントであると断</u>定される状態になると、もう学業は続けられなくなってしまいます。我慢に我慢を重ねて最後まで頑張って、カ尽きてしまう人もいます。



受け止め方、感じ方は人それぞれですが、

嫌な気持ちになる人を 弱い人だと決めつけてはいけません!

自分の感覚を基準にするのはやめましょう。



他の学生や教職員のいる前で、学生に対して人格を否定するような発言、「どうして出来ないんだ」との強い口調で叱ったり、嘲笑ったりされると、言われた本人はショックを受けて、その先生の授業を受けられなくなってしまいます。

また、あなたが、直接言われたわけではないけれど、そういう場面に遭遇したら、嫌な気持ちになりますね。

嫌な気持ちにならなかった人、 気が付かなかった人は、

教員になるのであれば、気づくことが必須です。

そのようなことを言われても平気だと言う人。 あなたは平気でも、ショックを受けている人や 嫌な気持ちになる人を弱い人と決めつけてはいけません。

精神的苦痛・つらさを理解するように努めて下さい。



1人でも理解をしてくれる人がいると

被害者の気持ちは大きく変わります

被害を受けていた学校の生徒の中には、

"心配して声をかけ、

加害者と直接関わらなくて済むように保護してくれた先生"

"話を聞いてくれた家族"

"学校で1人にならないよう一緒に過ごしてくれた友人"

のおかげで、最悪の事態を免れたという人がいます。

それは、生徒の心情を理解しようと努めてくれた 先生や周囲が行動を起こしたからです。





Column 2 ハラスメントについて学んでみて

タニガワ: 1人でも理解してくれる人がいると・・・っていう話を聞いて、私も先輩がいたから部活を最後まで頑張れたなって思い出しました。

ヤマドリ: そうなの?

タニガワ:中学生の時、吹奏楽部に入っていたんだけど、毎回コンクールに向けて選抜メンバーを決めていたんです。私も一生懸命練習して挑んだんだけど、選抜から落ちちゃったんです。

ヤマドリ:うん。

タニガワ:でもその後、先輩が急遽コンクールに出れなくなってしまって、2年生で同じ楽器で同じパートは私しかいなかったから、私が出られるのかなって思ってたら、まだ部活に入ったばかりの1年生の生徒が選ばれたの。それで、理由が知りたくて、顧問の先生に「どうして私は選ばれなかったのでしょうか」って聞いたら、先生が「あ、お前がいたの忘れてた」って言われて。

ヤマドリ:えー・・・

タニガワ:自分なりに一生懸命練習して、部活のみんなのために 色々頑張ってきたつもりだったんだけど、**忘れてたってどういう こと?ってショックを通り越して、落ち込んじゃって。**

ヤマドリ: **先生にとっては毎年あることで、生徒にとっては大切な1年だからね。**ショックだよ。よく部活やめなかったね。

タニガワ: それが、その時先輩がじっくり話を聞いてくれて、励ましてくれて、部活は頑張れたんだよね。

ヤマドリ:理解してくれる人がいるって大きいよね。僕たまに、 友達とゲームの話とかして笑ってるときに、友達ってどこから友 達なんだろうって考える時がある。

タニガワ: すごいこと考えてるね。

ヤマドリ:いや、真剣な話とか自分がどう感じたか――気持ちや意見を話す機会ってないなあって思って。

タニガワ: それはわかるかも。例えば今はなしてるみたいな真剣 な話をすると、重いかなとか、つまらないかなとか、引いちゃうかなって思うんだよね。

ヤマドリ: そうそう、だからそう言う話を聞いてくれる人って本当にありがたいし、自分もそういう人になりたいなって思う。

タニガワ:でも、そういう人の話を真剣に聞けるようになるっていうのは、さっきの話にあった行動することに繋がるかもしれないれ

ヤマドリ: **行動することが大切というところだよね。**僕はあの言葉を聞いて、ハラスメントに気づいたら、まずは授業アンケートに書いたり、友達と一緒にハラスメント窓口に行ってみようと思いました。

タニガワ: 私も「生徒の異変に気づいて、相談にのれる先生になりたい」ので、友達ともう一度シリーズ1の『相談しよう』を見て復興したると思う。

ヤマドリ: 今まで授業で2回、ハラスメントについて学んでみてどうだった?

タニガワ: そうだなー、**もう少し早く知りたかった!!**って 思ったよ(笑い)

ヤマドリ:もう少し早くっていうのは、若い頃にってこと? タニガワ:そうそう。セクハラはもう無縁の人はいないし、 アカハラについても知りたかったな~って思って。

ヤマドリ:確かに。ハラスメントについてみんなが知っていれば、相談にも行きやすくなるし、自分もハラスメントしないように気をつけられるし、学校全体の意識も変わるかもしれないね。

タニガワ: そう思います。だから学生にも教職向けの人権の 授業だけではなくて、全員にハラスメント研修してもらえな いかなあって思う。

ヤマドリ:僕らも教員になった後も研修受けて、人権意識を保っていきたいよね。

タニガワ:時が経つと、忘れちゃうからね。

ヤマドリ:今、話題になってるけど、校則とかも**不思議な校則**あるもんね。

タニガワ:私、地毛証明書出したことあります。

ヤマドリ: そうなんだ。

タニガワ:そうそう。どう証明したらいいかわからなかっ

た・・・ (笑い)

ヤマドリ:僕はニュースで、「下着は白以外いけない」っていう校則を見てびっくりしたよ。

タニガワ: それはちょっと・・・そんな校則あるんだ。でも、 その校則を守ってるかを確認するって言ったらさ。

ヤマドリ: セクハラでしょう。 タニガワ: そうだよね。

タニガワ: 校則とはちがうけどさ、「学校にお菓子を持ってきてはいけない」っていう規則があったんだけど。でもバレンタインデーの時だけ、OKに変わるんだよね。

ヤマドリ:暗黙の了解かぁ~。

タニガワ:でも、私の学校は女子高だったからさ、友達と先生に渡すことになるんだよね。そうすると、たまに生徒からチョコ貰って、先生がその気になっちゃったりして・・・

ヤマドリ:あー、セクハラのキッカケになってる。

タニガワ: だから私はバレンタインデーとか関係なく、お菓子は持ってきてはいけませんにした方が良いと思うんだよね。ヤマドリ: そうだと思うし、先生も意識もあげないとね。生

徒と先生は指導関係が解消されない限りセクハラになり得



ハラスメントについて 知りたい方へ

ハラスメントは身近にあるものなのに、説明しようと思うとなかなか難しい と感じている方もいるのではないでしょうか。

当会では、ハラスメントについて知れる、また友達にシェアしたり、ハラスメント研修に使用できるコンテンツを作成しています。









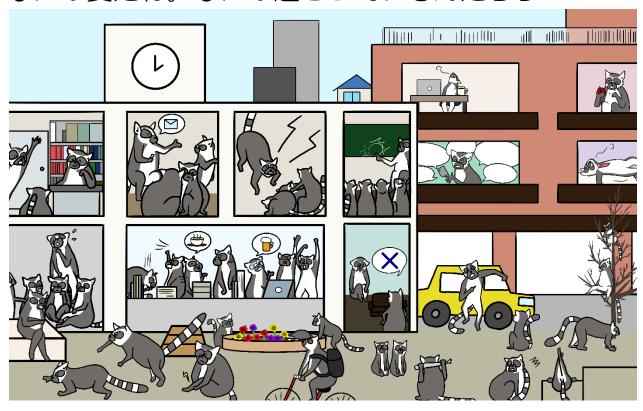


21

(読んでくれる?

回答例

なにか変だね。なにが起こっているんだろう・・・



学校左上の部屋から、

➤密室での指導

➤ 先生がメールアドレスもしくはSNSを 聞いている。もしくは写真を送るように 言っているのかもしれない。

>先生が大声で威圧的な態度をとっている。

学校の左下の部屋から

→人間関係の切り離し 打ち合わせで発言権を与えないなど

真ん中の部屋(職員室)では、

▶人によって態度が違う 「女性のいれるお茶はおいしいなあ」 飲み会は自由参加にしよう 学校右下の部屋では

➤妊娠や出産の相談に×と言っていたとしたら・・・?

奥のマンションでは右上の部屋では

▶論文の添削について先生方から深夜まで 連絡が来て、徹夜をしてしまった

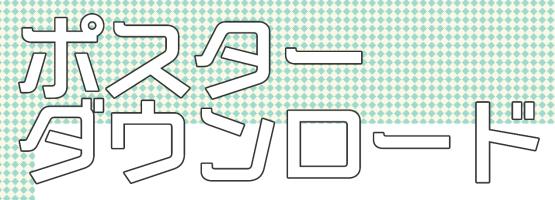
➤右下の部屋では五月雨式のLINRやメールに疲れてしまっている

外では

➤金属バットを持ち、学生を脅している 学生は長時間正座をさせられている

などなど

みなさんはどんなことを想像しましたか?

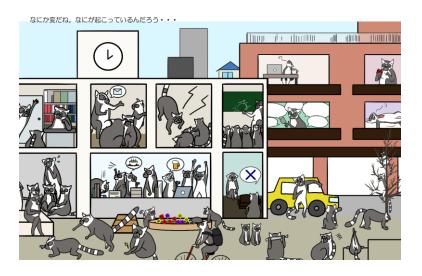


この冊子の一部をポスターとしてお使い頂けます

大学でのハラスメント事例







回答例

なにか変だね。なにが起こっているんだろう・・・



学校左上の部屋から、
ン密室での指導

➤ 先生がメールアドレスもしくはSNSを繋いて
いる。もしくは写真を述るように含っているの

かもしれない。 ➤先生が大声で威圧的な態度をとっている。

学校の左下の部屋から 打ち合わせで発言権を与えないなど

真ん中の部屋(職員室)では、 ≻人によって態度が違う 「女性のいれるお茶はおいしいなあ」 飲み会は自由参加にしよう

学校右下の部屋では ➤妊娠や出産の稲談に×と言っていたとした ら・・・?

奥のマンションでは右上の部屋では ➤論文の派剤について先生方から深夜まで 連絡が来て、徹夜をしてしまった ➤右下の部屋では五月雨式のLINRやメール に疲れてしまっている

外では ≻金属パットを持ち、学生を脅している 学生は長時間正座をさせられている などなど みなさんはどんなことを想像しましたか?



ハラスメント防止啓発にどなたでもお使い頂けます。 空白に大学名・相談窓口を載せてお使い下さい。 ダウンロードは右のQRコードから





気づいたことをメモしておきましょう

おりに

皆さんはどう感じましたか?

いきなり100%の解決を考えることはありません。

自分のできることや少し勇気を出して行動してみることが大切です。

嫌な思いをしている人が1人でもいたら、

言動に変化が必要なサインだと思ってください。

そのままにするのではなく、気づいたら行動へとつなげていきましょう。

相談窓口

NAAHでは、アカハラの相談をお受けしております。

「これってハラスメントかな・・・」「わからないけど、なんだか辛い」「どうしよう」 そんな時は、まずご連絡下さい。

また、大学で対応にお困りの方もご相談頂けます。

お申込みは電話、Email、手紙または公式HPの"相談受付フォーム"よりお願い致します。

TEL: 06-6353-3364 Mail: soudan@naah.jp

公式HP: http://www.naah.jp/index/

手紙郵送先: 〒530-0044

大阪市北区東天満2丁目9-4 千代田ビル東館507号室

アカデミックNPO事務局

制作:特定非営利活動法人

アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク(NAAH)

イラスト:酒井理沙子 大藤・P・ヒロミ

制作日:2022年3月27日

この冊子は

公益財団法人 大阪コミュニティ財団の助成により作成しました





転載または複製することは、 固く禁じております。 制作日:2022年3月